

黒羽地区にある自然と人があつまるステキな場所



那珂川を見ながらおしゃべりタイム



趣味でつながる男の居場所

黒羽地区小地域福祉活動計画策定委員

◎委員長 ○副委員長

No.	氏 名	役 職 等
1	◎ 荒牧 孝典	黒羽見守り助け合い隊総隊長
2	○ 増田 幸一	民生委員児童委員
3	齋藤 光晴	自治会長
4	川股 康洋	黒羽地区社会福祉協議会会長、自治会長
5	鈴木 正雄	自治公民館長
6	菊池 守男	自治会長
7	菊池 保昭	自治公民館長
8	坂本 瞭	黒羽ほほえみセンター運営委員会会長
9	佐藤 笑美子	民生委員児童委員
10	高梨 友子	主任児童委員、ボランティア・コスモス代表
11	増子 幸治	民生委員児童委員
12	荒牧 雅子	福祉委員
13	佐藤 芳子	福祉委員
14	村上 正幸	黒羽小学校 PTA 会長
15	大高 里美	黒羽小学校育成会会長
16	田代 政子	調理ボランティア代表
17	須永 一志	大田原市消防団第7分団第1部長
18	倉澤 文堯	識見を有するもの
19	菊池 千枝子	黒羽地区社会福祉協議会事務会計
20	鉢村 淳一	黒羽地区社会福祉協議会庶務会計
21	矢澤 秀夫	見守り隊主任、生活支援コーディネーター
22	鈴木 昭宏	見守り隊主任、生活支援コーディネーター

黒羽地区社会福祉協議会

地域みんなの**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせを、みんなで考え、みんなで進めるのが黒羽地区社会福祉協議会（地区社協）です。地区社協は地域の**ふ**くしのために、「自分たちの地域を自分たちで良くしていこう」という、黒羽地区のみなさんが主役になる活動です。

黒羽見守り助け合い隊

見守りが必要な方が、慣れ親しんだ地域で、安心して生活ができるよう、**見守りやちょっとしたお手伝い、つながりづくり**を行っています。

黒羽地区協議体

支え合いの地域づくりを目指して、黒羽の良いところを活かし、困りごとを解決していくためにみんなで**話し合い、みんなで取り組むきっかけ**をつくっています。



黒羽地区

みんなが主役の地域づくり計画

《第2次 小地域福祉活動計画 2026年度～2030年度》

目指す地域像

ロマン香る 黒羽



小地域福祉活動計画とは？

将来を見据え、私たちが住んでいる地域のよいところや課題などを話し合い、みんなで協力しながら「支え合いの地域づくり」（互助・共助）を進めるための「黒羽地区社会福祉協議会」の計画です。

黒羽地区の人口構成等

（2026.1.1 現在）

人 口	年少人口(0～14 歳)	236人	自治会数	12自治会	
	生産年齢人口(15～64 歳)	1,460人	世帯数	1,342世帯	
	高齢者人口(65 歳以上)	1,427人	高齢化率	大田原市	32.6%
	(うち後期高齢者(75 歳以上)人口)	(692人)		黒羽地区	45.69%
	黒羽地区 合計	3,123人			

黒羽地区の特色

黒羽地区は、大田原市の南東部に位置し、西側に清流那珂川が流れ、東側に御亭山がある緑豊かな田園地帯です。

かつては、所領1万8千石を有した黒羽藩の城下町として栄え、奥の細道でも俳聖松尾芭蕉翁が13泊14日と長逗留した地でもあります。

初夏には紫陽花が咲き誇る黒羽城址公園をはじめとして、界隈には大宿街道や名刹大雄寺、旧浄法寺桃雪邸があり、また、歴史資料を展示している黒羽芭蕉の館もあって、昔の風情を感じさせる歴史と文化の香る地域です。

時の流れとはいえ人口が都市部に集中することから当地域でも年々人口が減少し、高齢化が急速に進んでいます。

このような中、地域が一体となって知恵を出し合い「支え合い 絆で広がる 福祉の和」を目指し、地域福祉活動に取り組んでいます。



黒羽山大雄寺

発行年月：令和8年(2026)年3月

編集：黒羽地区社会福祉協議会 連絡先：大田原市社会福祉協議会黒羽支所（電話：54-1849）

黒羽地区はあらゆる人が「人ごと」を「わがごと」として お互いに支え合える地域づくりに取り組みます



目 標		実現のために具体的に取る組むこと	主な連携先 (関係機関)	2026	2027	2028	2029	2030
人づくり	地域を愛し、地域のために活動できる人を育てます	① 気づいたこと・困ったことを話したり、気軽に地域活動に参加したりできる人を増やします	自治会	実施・継続				
		② 地域のこれからを考え、地域をリードしていける人を育てます	自治公民館	企画（研修を入れる）・実施・継続				
		③ 子どもや若者が地域への関心を高め、地域行事に参加できるようにします	民生委員 福祉委員	企画・周知・声かけ・実施・継続				
居場所づくり	地域の子どもから高齢者が気軽に交流できる居場所づくりを進めます	① 隣近所の人たちが自然に交流できる地域づくりを進めます	黒羽見守り助け合い隊	実施・継続				
		② だれでも参加できるような自治公民館活動を目指します	黒羽ほほえみセンター	企画・周知・実施・継続				
		③ 子どもと高齢者がふれあえる場としても黒羽ほほえみセンターの活用を広く進めます	生涯学習推進協議会	企画・周知・実施・継続				
		④ 関係機関と連携した地域活動を工夫し、あらゆる世代の参加者を増やします	学校 PTA 育成会	企画・周知・声かけ・実施・継続				
見守り活動	地域ぐるみの見守り活動を広げます	① 日頃からご近所・自治会・地域であいさつ運動を進めます	こども園 保育園	企画・周知・実施・継続				
		② 子どもから高齢者まで、見守り活動の輪をひろげていきます	福祉施設	企画・周知・実施・継続				
		③ 関係機関と連携した防犯・防災の取組を進めます	警察・消防関係	企画・実施・継続				

支えあい 絆で広がる 福祉の和 ～ その地域活動



くろばね田町秋祭り



買物ツアー



茶話会



黒羽小学校児童との年賀状交流



防災講座



友愛給食



見守り隊 PR・募金活動(くろばね秋まつり)



おたっしゃクラブ



策定委員会